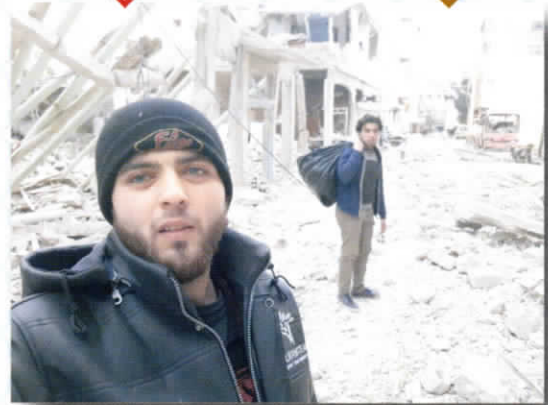


「平和は訪れたのか？」 「イスラム国」後の イラク、シリアの人びと



イラク シンジャル
イスラム国 (IS) が敗走した町に帰還した一家。
ISが残したしかけ爆弾で子どもたちが負傷した。
(イラク北西部シンジャル)



シリアを取材する地元記者
戦闘で破壊されたシリア・ダマスカス近郊の町を
取材する現地記者。(シリア・東ゲータ)

2018年12月15日 (土曜日)

【1部】	13:30~15:30 玉本さんのお話と質疑応答 (小ホール) 800円 (学生・障がい者は半額 介助者は無料)
【2部】	15:40~18:40 アラブ料理を囲んで (調理室) 500円

【1部】と【2部】は、個々の参加も可能です。

浄るリシアーは、阪急バス「能勢町役場前」下車すぐ
能勢電「山下」からバス12:45・14:05・15:05発「能勢町役場前」
「能勢町役場前」からバス16:18・17:18・19:03発「山下駅前」
能勢電「山下」=バス「山下前駅」からバス「能勢町役場前」は約28分



玉本 英子 たまもと・えいこ

豊能町在住のアジアプレス記者。1994年からイラクやシリアなど中東地域を中心に取材、テレビのニュースレポート、新聞、雑誌、ネット記事や報告会などで現地の状況を伝える。
毎日新聞大阪版、京都版で「漆黒を照らす」連載中。

玉本取材中写真
ISに迫害された少数宗教ヤズディの小学生たちと
(イラク北部)